

本日は「さんぽ山形メールマガジン」第205号をお届けいたします。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆◇◇当センター産業保健相談員の手記◇◇

先日『いのち支える山形市自殺対策協議会』に地域産業保健センター登録産業医として 出席し、地域・学校・職場等での自殺対策の取り組みについて相談先や講習会の開催な ど知る機会を得ました。自殺対策を広く事業場が行うメンタルヘルス対策として、簡単 に振り返ってみることにしました。

1 心の健康づくり計画

厚生労働省が定める「労働者の心の健康の保持増進のための指針」において策定が推 奨されているものです。継続的かつ計画的に行われるようにすることが重要です。

2 事業場内メンタルヘルス推進担当者

産業医等の助言、指導等を得ながら事業場のメンタルヘルスケアの実務を担当する者です。職場のメンタルヘルス対策の企画、実施、相談窓口、調整の役割が求められています。

3 ストレスチェック

セルフケアとしての「気づき」だけでなく、集団分析を通して職場環境の改善にも役立つものです。

4 パワハラ対策

パワハラ対策防止措置は令和4年4月1日から中小企業にも義務化されています。パワハラと指導の明確化など必要な措置があります。

5 心の問題で休業した人の職場復帰支援

心の問題で休職者が出た場合、職場復帰可の診断書が出るまで放置になっていませんか?職場復帰に向けてのステップを厚生労働省が示しています。まずは休業診断書が出たときからがステップ1。休業期間中は療養に専念できるように情報提供等の支援を行います。

思いつくままに述べましたが、心身ともに健康でお仕事できますように願っております。 山形産業保健総合支援センター 産業保健相談員 武田由美子(医師)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆◇◇研修会・セミナー等のご案内◇◇

当センターホームページに「研修日カレンダー」(募集予定も含む)を掲載しております。 こちらからご確認ください。

https://www.yamagatas.johas.go.jp/news/%e3%80%8c%e7%a0%94%e4%bf%ae %e6%97%a5%e3%82%ab%e3%83%ac%e3%83%b3%e3%83%80%e3%83%bc%e3%80%

○【産業保健スタッフ向け】【Web研修会】「女性の健康課題改善のための研修」

- ~職場における女性の健康課題への対応について話し合ってみましょう~
- 日 時 令和6年10月9日(水) 13:30~14:30
- 会 場 山形産業保健総合支援センターWeb会議システム『Zoom』
- 対 象 保健師、看護職等の産業保健スタッフの方
- 講 師 山形産業保健総合支援センター 産業保健専門職 渋谷 伊世
- 定 員 20名(先着)

【研修のねらい】

女性にはライフステージによって様々な健康問題があり、うまく付き合っていくことが大切になりますが、職場での対応、配慮で悩むこともあるかと思います。 女性の健康問題についての課題や取り組みについて意見交換をしながら、女性の活躍を支える職場づくりについて考えてみましょう。また、男性の更年期障害などへの対応・配慮も検討して、より働きやすい職場づくりにつなげましょう。

【研修内容】

- ※参加者の事前の事例、情報提供をもとにした研修です。
- ・女性特有の健康問題・健康課題についてスライド・動画研修
- ・女性特有の健康問題への対応・配慮で工夫していることの共有
- ・女性特有の健康問題への対応・配慮の課題の共有
- ・男性の更年期障害などへの対応・配慮の共有

詳細・お申し込みはこちらから

https://www.yamagatas.johas.go.jp/workshop/%e3%80%90web%e7%a0%94%e4%bf%ae%e4%bc%9a%e3%80%91%e4%bb%a4%e5%92%8c6%e5%b9%b410%e6%9c%8

○【事業所向け】【第 176 回産業メンタルヘルス研修会】(Web研修会)

「ハラスメント~研修講師の見聞録~」研修会

- 日 時 令和6年10月10日(木) 14:00~16:00
- ※山形産業保健総合支援センターから「Zoom」を用いて発信します。
- 対 象 人事労務担当者、保健師・看護師・衛生管理者等の産業保健に関わる方
- 講 師 ワッツ・ビジョン 代表 笹崎 久美子 氏
- 定 員 40名(先着)

【研修のねらい】

多くのハラスメント研修を担当してきて見聞きしたことや個人的に感じたことを講師 目線でざっくばらんに話します。

他の組織の取り組みや、事前・事後のアンケートから拾った気になるひとことなども ご紹介。

何かのヒントになれば幸いですが、軽い気持ちで聴いてくださって構いません。肩の力を抜いて職場のマネジメントを一緒に考えてみませんか?

【研修内容】

- 1 ほとんどがセーフという現実、その伝え方
- 2 研修で感じる職場風土と本気度

- 3 答えられなかった質問
- 4 提訴のニュースはあっても判決のニュースがないのはなぜ
- 5 パワハラ社長だからできることもある?
- ※本研修会は、上記の内容に加え、厚生労働省から委託を受けた業者による「勤務間インターバル」の説明を15分程度含みます。あらかじめご了承ください。

詳細・お申込みはこちらから

https://www.yamagatas.johas.go.jp/workshop/%e3%80%90web%e7%a0%94%e4%bf%ae%e4%bc%9a%e3%80%91%e4%bb%a4%e5%92%8c6%e5%b9%b410%e6%9c%8

★産業メンタルヘルス研修会は、毎月第二木曜日に開催しております。当センターホーム ページ「研修日カレンダー」から詳細をご確認の上、是非ご参加ください!

※当センターのWeb研修会の留意事項

- ・オンライン会議システム「Zoom」を使用します。研修会への参加自体は、ブラウザからのアクセスも可能ですが、アプリケーションソフト「Zoom」をダウンロードしてのご参加をお勧めします。
- ・参加申し込みは当センターホームページの専用フォームからお願いします。受講申 込みの方には、研修開催前の1週間前後を目処に招待メールをお送りいたします。 開催日3日前でも届かない場合やご不明な点がありましたら、お手数ですが当セン ターまでご連絡ください(事業場内での招待メールの転送はご遠慮ください)。
- ・カメラ・マイクなしのパソコンでも参加可能です。同一機関から複数名ご参加される場合は、一人ずつ別々にログインしていただくようお願いいたします。
- ・やむを得ず欠席される場合は、当日でも結構ですので当センターまでメールもしく は電話にてご連絡ください。
- ○その他関係機関主催のセミナー

【事業主・労務管理者向け】健康経営(未病)セミナー

- 日 時 令和6年11月19日(火)14:00~16:00(開場 13:30)
- 会場パレスグランデール(山形市)+Webオンライン(Zoom)
- 対 象 事業主·労務管理者
- 講 師 ミロク脳神経リハビリクリニック院長 齋藤 佑規 医師
- 定 員 会場 150 名+オンライン配信 500 名

【セミナー内容】

健診受診率は全国1位なのに、健康寿命は決して長くないのは、どうして?健診を受けさせるだけが事業主の義務ではありません。発病前の「未病」をいかに健康に近づけるのか?事業所にできることについて、専門的な見地からアドバイスいただきます。

詳細はこちらから

https://www.kyoukaikenpo.or.jp/shibu/yamagata/cat070/r6seminar20240829/ 【介護スタッフ・管理者向け】安全衛生セミナー 「ノーリフトケア」で腰痛予防!

日 時 令和6年11月22日(金)14:00~16:00

- 会場 山形国際交流プラザ「山形ビッグウイング」2階大会議室
- 対 象 介護スタッフとその管理者の方
- 講 師 やまがたノーリフティングなにや会
- 定 員 200名(先着順)
- 主 催 山形県介護施設SAFE協議会(事務局:山形労働局)

【セミナー内容】

近年、介護現場では、作業中の「腰痛」による労働災害が増加しており、介護施設に おける労働災害防止対策の強化が急務となっています。本セミナーでは、労働者の腰 痛予防に有効であり、また、施設利用者にも安楽なサービスが提供できる「ノーリフ トケア」の実演を交えながら、腰痛予防対策の留意点等について情報提供します。

詳細・お申し込みはこちらから

https://www.roudoukyoku-

setsumeikai.mhlw.go.jp/briefings/search?bri_flag=2&labor_prefecture=%E5%B1%B1%E5%BD%A2%E7%9C%8C

【小売業向け】安全衛生セミナー「カスタマーハラスメントを含めたメンタルヘルス対

- 策、施設内での転倒防止対策等の進め方」(Webセミナー)
- 日 時 令和6年12月11日(水)
- 対 象 小売業の方
- 講師 山形産業保健総合支援センター産業保健相談員 石井 満氏(わかばサポート代表)
- 定 員 100名(先着順)
- 主 催 山形県小売業SAFE協議会(事務局:山形労働局)

【セミナー内容】

近年、小売業では、カスタマーハラスメント等による精神疾患、施設内での転倒災害等といった労働災害が発生しており、安全衛生対策の強化が求められています。労働災害のない安全で安心な職場環境づくりは、労働者の安全衛生確保はもとより、顧客への良質なサービスの提供にもつながり、企業としての社会的評価の向上、人材確保にも有効です。本セミナーでは、従業員をカスタマーハラスメントから守るためのメンタルヘルス対策、店舗等における転倒災害防止対策等、小売業に求められている安全衛生対策について学んでいきます。

詳細・お申し込みはこちらから

https://www.roudoukyoku-

setsumeikai.mhlw.go.jp/briefings/search?bri_flag=2&labor_prefecture=%E5%B1%B1%E5%BD%A2%E7%9C%8C

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆◇◇トピックス◇◇

◆全国労働衛牛调間について

https://www.yamagatas.johas.go.jp/news/%e4%bb%a4%e5%92%8c%ef%bc%96%e5%b9%b4%e5%ba%a6%e3%80%8c%e5%85%a8%e5%9b%bd%e5%8a%b4%e5%83%

◆9月は「職場の健康診断実施強化月間」です

特に労働者数50人未満の小規模事業場の皆様は、県内6か所の「地域産業保健センター」を是非ご活用ください。

https://www.yamagatas.johas.go.jp/news/%e3%80%8c%e8%81%b7%e5%a0%b4 %e3%81%ae%e5%81%a5%e5%ba%b7%e8%a8%ba%e6%96%ad%e5%ae%9f%e6 %96%

◆「山形県の労働衛生2024年版」のご案内

当センターでは、山形労働局からご協力をいただき、山形県内の令和5年における健康 診断実施結果状況及び業務上疾病の発生状況、令和5年度における脳・心臓疾患及び精 神障害に係る労災補償状況の資料を作成しました。

こちらからダウンロード可能です。

https://www.yamagatas.johas.go.jp/information/

- ◆山形労働局からのお知らせ
 - ○「やまがたゼロ災運動・2024」特設サイト
 - 〇令和6年 山形県内における労働災害発生状況・死亡災害一覧(令和6年8月末現在) 詳しくは当センターホームページからご確認ください。

https://www.yamagatas.johas.go.jp/news/%e3%80%8c%e3%82%84%e3%81%be %e3%81%8c%e3%81%9f%e3%82%bc%e3%83%ad%e7%81%bd%e9%81%8b%e 5%8b%

3/

○令和6年度「冬の労災をなくそう運動」について

例年、12月から3月頃までの冬期間には、凍結や積雪による転倒災害、墜落・転落 災害、交通事故など冬期特有の労働災害(冬期型災害)が多発しています。これを防 止するには、労働者自身の安全対策の実施はもとより、事業者自らが冬期型災害の防 止に向けた安全方針を表明し、刻々と変化する自然環境に即応し、作業環境を整備す ることが重要です。

- ・スローガン「見える化」と 転ばぬ意識と行動で みんなでなくそう 転倒災害
- ・実施期間 令和6年12月1日(日)から令和7年2月28日(金)
- ◆厚生労働省からのお知らせ
- ○労働安全衛生関係の一部の手続きの電子申請が義務化されます。

https://www.mhlw.go.jp/content/11200000/001292236.pdf

○石綿(アスベスト)の事前調査は施工業者(元請事業者)が必ず行う必要があります! 石綿総合情報ポータルサイト https://www.ishiwata.mhlw.go.jp/

○「提言:産業保健サービスを小規模事業場(従業員50人未満)へ提供するために

(公益社団法人日本産業衛生学会 政策法制度委員会)

当センターの菅原保産業保健相談員(医師)が委員を務めております。

https://www.sanei.or.jp/topics/recommendation/individual.html?entry_id=1387 〇「母性健康管理研修会」(厚生労働省委託事業) 一般社団法人女性労働協会では、厚生労働省からの委託により、「母性健康管理研修会」を実施しています。期間は、令和6年10月から令和7年3月まで、登録制によるオンデマンド配信形式です。詳しくはこちらから。

https://www.bosei-navi.mhlw.go.jp/kenshu2024/

- ○「産業保健職の現場課題に応える」Q&A(一般社団法人 日本産業保健法学会)
- Q 適応障害やうつ病等の精神疾患のために休職している従業員が、休職期間中に趣味の活動(音楽活動や旅行等)をしていた場合、療養専念義務に違反し、会社から注意指導や懲戒処分の対象となり得るでしょうか

https://jaohl.jp/qa2

- ○令和7年度産業医学調査研究助成事業(一般公募)について(公益財団法人 産業医学振興財団) https://www.zsisz.or.jp/investigation/r7.html
- ○がんの治療と仕事 両立支援 第15回がん分野勤労者医療フォーラム 日 時 令和6年10月5日(土)

Web・会場(TKPガーデンシティPREMIUM品川高輪口)のハイブリッド開催 詳細・お申し込みはこちらから(東京労災病院治療就労両立支援センターHP)

https://www.tokyor.johas.go.jp/

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆◇◇治療と仕事の両立支援について◇◇

通院等の治療が必要な疾病を抱える労働者が業務によって疾病を悪化しないよう、また、治療と仕事の両立のために必要となる一定の就業上の措置や治療に対する配慮を事業者が行うことは、労働者の健康確保対策等として位置づけられており、現在、治療と仕事を両立できる職場環境が必要となっています。

山形産業保健総合支援センターでは、治療を続けながら安心して働くことができる職場づくりを無料で支援しております。お気軽にお問い合わせください。

https://www.yamagatas.johas.go.jp/compatibility/

(編集人 副所長 石塚)

◆当センターが開催する研修会・セミナー等(集会形式)の受講について (研修会等に参加ご希望の方は必ずお読みください。)【令和6年6月25日現在】 山形産業保健総合支援センターが開催する研修会・セミナー等(以下、「研修会等」と 記す。)におきまして、受講の申込みをされる方は、以下の事項を必ず確認のうえ、研修 会等にご参加ください。事前申込厳守です。

○講習の開催について

現時点では、予定している研修会等は感染防止について下記の措置(※1)を講じた上で実施いたします。

但し、情勢に変化があったときは検討後、研修会等を中止または延期する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

(※1)当センターで講じる措置

- ○座席は指定席とし、最低限人と人が接触しない程度の間隔を空けてお座りいただきます。
- ○研修の合間に必要に応じて窓を開放する等による自然換気をいたします。
- ○マスクの着用は個人の判断に委ねることといたします(当センターでマスクのご用意はありません)。
- ○研修会等の受講を希望される方へ
- ・受講当日、下記のいずれかに該当する方は研修会等の受講をご遠慮いただきます。
 - 1 感染症に罹患している方
 - 2 発熱、倦怠感、咳等の症状があり、体調がすぐれない方
- ・受講にあたっては、感染症防止対策にご協力願います。
- ・研修会等の開催会場では、窓を開放する等し、必要に応じて自然換気を行います。 このため、場合によっては冷房・暖房効果が損なわれる事がありますので、暑さ・寒さ 対策をお願いいたします。
- ・会場内における食事は原則禁止ですが、熱中症予防等のための水分補給は、適宜行っていただいて結構です。ただし、飛沫には十分ご配慮ください。
- ○欠席または研修会等当日に参加をご希望の場合は、必ず事前にご連絡をお願いいたします。
- ○受講者数を把握のため、無断欠席や飛び込み参加はご遠慮ください。
- ◆当総合支援センターでは、事業場で産業保健活動に携わる産業医、産業看護職、衛生管理者をはじめ、事業主、人事労務担当者から、メンタルヘルス対策、作業環境管理、健康診断の事後措置等の「従業員の健康管理」や「治療と仕事の両立支援」に関するご相談に応じています。

ご相談は、下記当センターメールアドレスあて、ご相談内容をご記載の上、メールにてお送りください。

編集内容等に関するご要望・ご意見・ご質問等をお待ちしております。

メールアドレスの変更や配信停止の場合は、次のアドレスまでご連絡ください。メルマガ配信に関しての個人情報は本目的以外には使用いたしません。

┼編集·発行┼──

独立行政法人労働者健康安全機構 山形産業保健総合支援センター 〒990-0047 山形市旅篭町 3-1-4 (食糧会館 4F)

TEL 023-624-5188 FAX 023-624-5250

[URL]https://www.yamagatas.johas.go.jp/

[E-MAIL]sanpo06-kenkou@yamagatas.johas.go.jp